

〈報告〉

令和6年度 下水道技術研修 (運転シミュレーション研修) 結果報告

企画委員

堀 田 卓

(株)日立製作所

1. はじめに

令和3年度のEICA研究発表会のオンライン見学を受けて、令和5年度からEICAの継続的な取り組みとして実施することが承認され、昨年度に引き続き今年度の実施となった。

(協賛 (一社)東京都下水道設備協会)

本取り組みを行う目的・意義

- ① 官公庁と企業の橋渡しとしてのEICAの役割、東京都との関係性維持向上
- ② メーカー系技術者のプラント運転体験 (賛助企業のメリットおよび賛助企業募集や会員募集の期待効果)
- ③ 施設活用による下水道業界全体の人材育成

令和6年8月19日に行われた研修結果について報告する。

2. 結果報告

1. 日時 令和6年8月19日(月) 13:00~16:30
2. 場所 東京都下水道局 下水道技術実習センター
3. 受講者6名
 (株)明電舎 堀 悠之亮
 (株)日立製作所 佐藤 亮太
 メタウォーター(株) 新妻 尚樹
 (株)東芝インフラシステムズ 田川 正和
 三菱電機(株) 谷 浩平
 月島 JFE アクアソリューション(株) 遠山 剣
4. スケジュール

時間	科目	
13:00~13:30	事前案内および施設概要説明	下水道技術実習センター施設概要説明
13:30~16:00 (休息含む)	導入講義 実習	【運転シミュレーション実習】 模擬装置を用いたシミュレーション ① 導入講義 (演習機器概要説明) ② 研修機器予備操作 ③ 降雨時ポンプ運転演習 【講師】 東京都下水道サービス株式会社 下水道研修センター 研修企画課
16:00~16:30	施設見学	下水道技術実習センター施設

5. 研修の様子



降雨時ポンプ運転演習



シミュレーション結果の振り返り



センター施設見学

6. アンケート結果(要約)

〈会社側(管理者)の主な意見〉

- ・若手社員へ設備運転管理技術を体験させ、お客さまの気持ちになって設計や製作ができるようになって欲しいと考え、参加してもらった。
- ・帰社後、顧客目線に立った発言が増えてきており、顧客理解が深まったように感じる。
- ・今後の技術開発において、今回の成果を積極的に活かして行く意欲が見られた。
- ・運転シミュレーション実習であったため、電気系技術職を参加させてきた。土木実習や設備実習など、他の研修を行う場合は、研究職や開発職、機械系技術職など参加させたいと考えている。
- ・参加者から大変好評だったので、ぜひ継続いただきたい。

〈参加者の主な意見〉

《良かった点》

- ・製品システムを納める立場として、運用時の体験が出来て非常に貴重な経験になった。社内で設備設計を行う際に参考にできる良い材料になった。
- ・プラントの動きを直接体験し、雨天時の対応方法を理解できた。汚水と雨水の対応の違いを明確に理解することができた。オペレーターの悩みを理解できた。プラントの知識が豊富にないと難しいと感じた。影響の大きい雨天時の対応の重要性を再認識した。

《要望事項》

- ・2パターンくらいの模擬実習ができるとさらに色々と考えられて良かったと思う。
- ・半日の間で実施するにはボリュームが多いような気がしたので、1日での研修も実施いただきたい。

《下水道技術実習センター内の施設見学について》

- ・多くの施設があり、さまざまな体験をすることができる点がありがたい。実際にポンプの内部やシーケンスを元に点検することができる研修はプラントを理解する上で貴重な体験になると思う。
- ・下水道設備における電気関係の技術ばかり勉強してきたので、機械・土木系の技術を見ることができ、非常に興味深かった。また、研修内容に関しても今回の雨水排水シミュレーションと同じくらい勉強になる研修であると感じたため機会があれば是非受講したいと思った。

7. 所感

会社側や参加者から、「研修前後で変化の違いを感じる事ができた」、「実際に自分で体験してみても貴重な体験となった」などのコメントが有り、有意義な研修であったと思います。

今回の経験を会社に戻って、監視制御システムの設計・エンジニアリングに活かしていただくことが下水道業界全体の人財育成にもつながっていくものと期待しています。

(令和7年1月21日)